

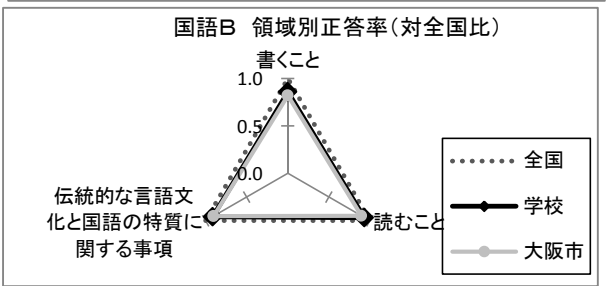
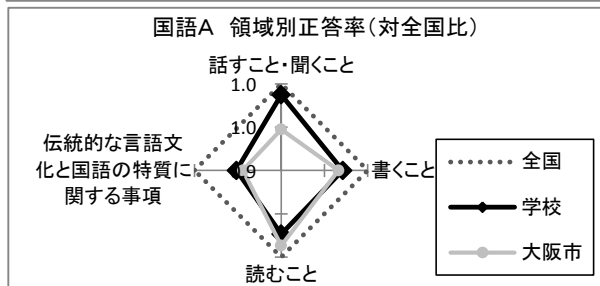
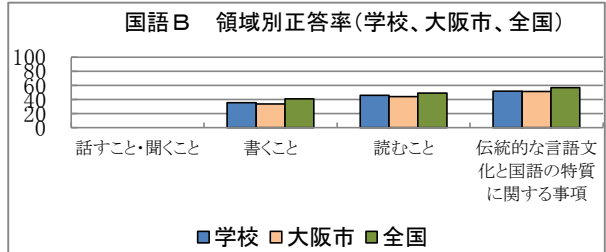
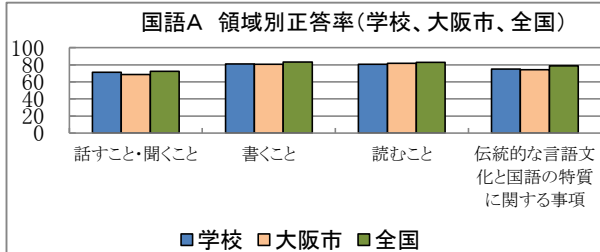
【国語】

結果の概要

国語A、国語B共に、ほぼ平均正答率は大阪市を上回っているが、全国よりわずかに下回っている。国語A「主として知識」では「話すこと・聞くこと」が全国平均正答率とほぼ差がなく、ICT機器を活用し、班で話し合い調べたこと、創作したことを発表する授業形式が多くなったため力が伸びたと考えられる。生徒質問紙の結果では「国語の授業はわかりやすいですか」「自分の考えを話したり、書いたりしていますか」などの「当てはまる」が多く、わかりやすい授業、協働学習の効果が表れている。

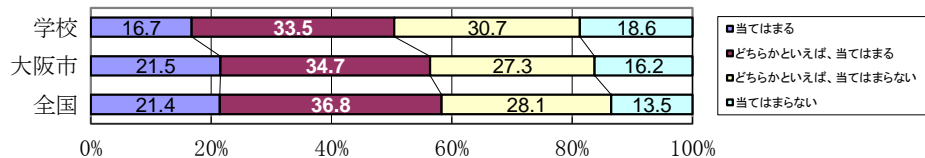
A 問題		平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	4	71.4	68.5	72.3
	書くこと	6	81.0	80.6	83.4
	読むこと	5	80.7	81.8	82.9
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	17	74.9	74.3	78.7

B 問題		平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	0	—	—	—
	書くこと	3	35.2	33.6	41.0
	読むこと	8	45.9	44.1	49.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	4	51.9	51.3	56.8

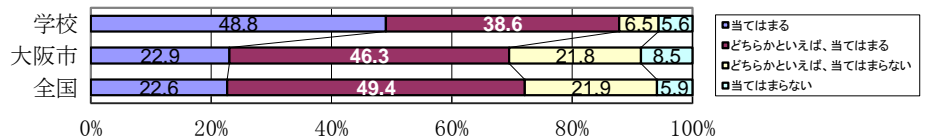


国語に関する「生徒質問紙」

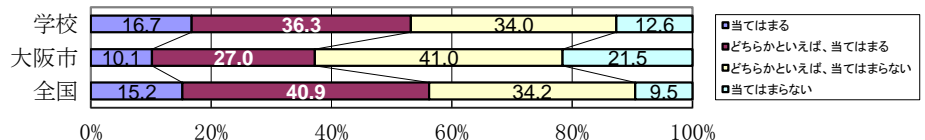
50
国語の勉強は好きですか



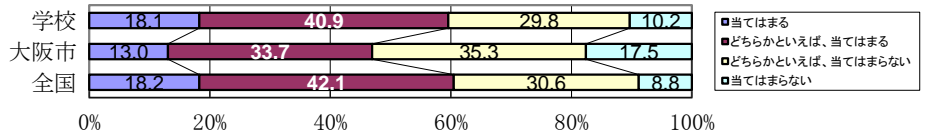
52
国語の授業の内容はよくわかりますか



55
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか



57
国語の授業で自分の考えを書き、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか



成果と課題

ICT機器活用により、よりわかりやすい授業の研究が進められてきた成果が「授業の内容がよくわかる」「資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりする」の「当てはまる」数値が上がっていることから考察される。しかし、国語A「主として知識」の伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の平均正答率が全国と差がある。

今後の取組

引き続き、ICT機器を活用した授業研究を進め、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項でよりわかりやすい授業をする。また、習熟度別少人数制授業、T、Tの効果的な活用を進め、個に応じた学力向上を図る。